

平成29年度第4回外洋常任委員会 議事録

日時 : 平成29年12月2日(土) 16:20~17:40
場所 : 岸記念体育館101会議室
出席者 : (理事)
坂谷定生常務、菊池邦仁、平松隆、中澤信夫、宇都光伸
(監事)
児玉萬平
(委員会)
ルール委員会外洋規則小委員会委員長 大村雅一
国際委員会外洋小委員会委員長 鈴木一行
外洋計測委員会委員長 吉田豊
外洋安全委員会委員長 大坪明
レース委員会外洋小委員会委員長 (代理) 長谷川淳
(外洋常任委員会事務局)
鈴木保夫

(順不同、敬称略) 計12名

1. 挨拶

坂谷 : 植松副会長は本日所用のため欠席ですが宜しく申し上げます。

鈴木国際小委員長は途中退席するので、議題3から始める。

2. 議題

3. オリンピックショーケースイベントについて

鈴木(一) : 植松副会長と一緒に準備活動をしている。

計画の概要は資料のとおりである。

東京湾をスタートして江ノ島をフィニッシュとする。

オリンピック組織委員会に働きかけているが、組織委員会がまったく動いてくれない。

決着は来春までにつく予定であるが、今のところ実施の確率は40%くらいと考える
メキシコで開催された「2017ワールドセイリング」の総会に11月8日、9日の2日間参加した。

オリンピックショーケースイベントについては、WSがIOCにできるだけ働きかけを行っていること、WSとしてTokyo2020組織委員会に何度も提案を行っていること、フランス2024ではOneデザインを公式メダル競技として是が非でも実施するつもりであり、そのためにもTokyo2020では公開競技を実現したいこと等が確認された。

ORCレーティングの現状はORCのレーティング発行が約1万艇、IRCが5千艇である。ORCは政治力があると感じている。

フィンチより日本での普及のために、UMS/ORCiからIRCのEndorseへの転換を計

測 1 回で可能とする、2019 年にアジア選手権開催、イベント用のワнтаム証書の発行を無料で行う、2018 年にオランダハーグで外洋選手権を開催する等の提案があった。

平松：外洋三浦の会議で質問を受けるので、今何がどうなっているのか説明して欲しい。

鈴木（一）：IOC とオリンピック組織委員会との話が纏まっていない。

JSAF から 2020 組織委員会に働きかけているが動かない。

2018 年夏までに決まっていなくて間に合わない。

コストは 2,000 万円から 5,000 万円を予想しているが、決まらないのでなかなか情報を出せない。

1. 平成 30 年度外洋艇推進グループ委員会別事業計画、収支予算について

坂谷：配布した事業計画（案）の 1 から 3 は今まで通りとし、4 として「ジャパンカップの充実」を加えて、予算は 710 万円の収入、支出はフラッグリレーに 30 万円を計上して計 710 万円とした。これを外洋常任委員会の予算とする。

大坪：以前外洋総務委員会で、委員の交通費を支給することになっていたが、もらっていない。

坂谷：外洋常任委員会の中に研修費等の予算として計上してあるが、これまで請求が無かったと理解している。必要であれば請求してもらいたい。

ただし JSAF としては交通費の支給はしていないので、請求の仕方についてはその点を配慮してもらいたい。

長谷川：レースオフィサーについて現行の規程を配布した。

NRO がいるが名前貸しになっている現実がある。

レースアドバイザー制度があったが、いつの間にか削除されている。

配布したレースオフィサー制度（案）は外洋小委員会で検討したものである。

坂谷：計測の予算と安全委員会の予算が上がってきたら大村さんが纏める。

長谷川：来週のレース委員会で決まるので提出する。

2. ジャパンカップの進め方について

坂谷：ジャパンカップの開催基準があり、ホームページに載っている。

来年はインカレと重なっており、ホテルに問い合わせたところ既に満室となっていた。

日程を 10 月に変更することを検討する。

菊池：変更するのであれば、すぐに変更の必要がある。

坂谷：すぐに検討する。クラス分け（案）については如何か。

複数の艇を持っているオーナーがいるので公示の時点で決めたい。

今日の議論を踏まえてジャパンカップ委員会で検討してもらおう。

吉田：全日本のミドルボートの大会をこの中でやることはないか。

坂谷：それはない。

4. オリンピック応援フラッグリレーの今後の進め方について。

菊池：日本海側は外洋系が弱いので、県連や海の駅を利用すること考え、来年1年を使って日本海側を運びたい。

代表者会議においても説明を進めたい。

大村：きれいに一周しなくても、旗を作れば済むのでいろいろ当たってみれば良いと思う。

宇都：九州はよく検討してみるのも、もう少し待つて欲しい。

坂谷：次回の代表者会議で計画を発表してもらいたい。

宇都：九州は大丈夫な状況になってきている、3月に決まる予定。

5. 時期理事選挙について

坂谷：来期の理事選挙では新たに3名の女性理事枠ができる。

外洋系の女性の候補を紹介して欲しい。

中澤：現在思っている候補が4人いるが、選挙となると引ける人がいる。

坂谷：今後候補者を調整していきたい。立候補者には1月の団体長会議には是非出席してもらいたい。

以上。

文責：鈴木保夫